

令和3年度 病院事務部の運営方針

病院事務部長

榊原 敏矢

病院事務部の組織体制

病院総務課

医事課

経営企画課

基本方針

○ 菊川病院事務部は、菊川市立総合病院第四次中期計画に掲げた目指すべき病院像（ビジョン）の実現に向けて、六つの取り組みの柱に基づき、診療部・看護部・診療技術部・事務部が一丸となり、経営改善に取り組みます。

☆ビジョン⇒『質の高い※ケアミックス病院として、
医療・介護の両面から市民が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。』

☆取り組みの柱

- ①医療提供体制の整備、②地域連携体制の整備、③組織体制の整備、④働き方改革への対応、
⑤「ワーキングチーム」による現場に即した改善、⑥収支改善への取り組み

※ケアミックス病院とは、急性期病棟や回復期病棟など複数の機能を持つ病棟を有する混合型病院です。

重点的に取り組む施策・事業

※ ↓ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年10月29日時点で達成目標等の一部を変更しています(赤字見え消し箇所)。

1 防災対策の強化 (病院総務課)		3 すべての人に 健康と福祉を 	11 住み続けられる まちづくりを 			
現状・課題	防災対策については、令和2年度に新たな防災対策マニュアルを策定するとともに、組織体制についても抜本的に見直しを進めました。しかし、新たな体制が全職員に浸透しているとは言えないため、職員一人ひとりが理解を深める必要があります。			達成目標	事前訓練を実施して理解を深め、令和3年9月5日に開催される静岡県との合同防災訓練に参加します。	
	9月5日に開催される静岡県との合同防災訓練前に、予行訓練及び机上訓練を実施します。				令和3年12月5日に病院単独の訓練を実施します。	

2 人材育成の推進 (病院総務課)		3 すべての人に 健康と福祉を 			
現状・課題	人材育成に主眼を置いた人事評価制度については、能力・態度評価に加えて業績評価も含めた試行を実施し、より良い制度となるよう随時検証・見直しを進めています。また、看護部・診療技術部・事務部の監督職10人で構成する「文化のコアチーム」を新たに編成し、毎月研修会を開催しています。今後も、全員経営という組織文化の醸成のため、次の世代の中心を担う人材を育成することが求められています。		達成目標	文化のコアチームを再編成し、研修会を10回開催します。 (令和2年度実績：10回)	
取組内容	「文化のコアチーム」を編成して定期的に研修会を開催し、職員一人ひとりが上司の指示を待って行動するのではなく、「自分で考え、判断し、行動する」ことができる人材を育成します。				

3 未収金の削減		(医事課)	3 すべての人に 健康と福祉を 			
現状・課題	医療費の未収金については、経済状況の悪化や高齢化が進む社会情勢の中、増加傾向にあります。また、特別な理由もないまま支払いを放置している利用者也、一部見受けられます。今後も、法律事務所との回収協力体制を活用し、より公正・公平な未収金対策に取り組む必要があります。		達成目標	債権の適正な管理と回収業務の効率化を進め、法律事務所による徴収事務を活用し、前年度（令和2年度）分の医業収益に対する未収金比率を0.05%以内とします。 （令和3年1月末実績：0.079%）		
取組内容	未収金の状況を早期に把握するため債権管理システムを活用し、法律事務所と連携して未収金を削減します。					

4 診療報酬請求事務の適正化 (医事課)		3 すべての人に健康と福祉を 			
現状・課題	診療報酬については、変動する社会や経済状況に応じるため2年ごとに改定されており、医療現場では改定される内容に対応するため、その都度体制等の見直しを進めています。今後は、順次公表される改定に関する情報を収集・分析し、その対策に関して院内関係部署が連携を強化して早期に取り組む必要があります。		達成目標	診療報酬改定に対応するため、関連する情報を収集・分析し、院内関係部署へ情報を2回以上発信します。	
取組内容	令和4年4月に予定されている診療報酬改定に対応するため、関連する情報を収集・分析し、院内関係部署へタイムリーに情報を発信します。				

5 高度医療機器等の更新 (病院総務課)		3 すべての人に 健康と福祉を 			
現状・課題	高度医療機器等の更新については、年度による投資金額を可能な限り平準化するなど、中・長期的な視点で更新を進めています。今後も、地域医療を担う中核病院として、患者に安全・安心な医療を提供していくため、計画的に医療機器を更新していく必要があります。		達成目標	関係部署と協議し、次年度以降の更新計画を作成します。	
取組内容	関係部署と事業の調整を進め高額医療機器を更新するとともに、次年度以降の詳細な更新計画を作成します。				

6 第四次中期計画の推進 (経営企画課)		3 すべての人に 健康と福祉を 			
現状・課題	医療資源が不足する中東遠2次医療圏にとって、当院の果たすべき役割は大きく、当院の医療提供体制を安定させることは、地域の医療環境全体の安定化と超高齢社会における安心・安全の確保に繋がるものと考えます。今後も、中・長期的な視点のもと、医療を取り巻く様々な環境や医療ニーズの変化等にも柔軟に対応し、経営改善を確実に進めていくことが求められています。		達成目標	病床稼働率を72.3%以上、医業収支比率を91%以上とします。 (令和3年2月末実績：病床稼働率68.8%、医業収支比率85.4%)	
取組内容	課題に対し、実行部隊としてのワーキンググループを組織横断的に編成し、現場の意見を中心とした戦略を立て、解決に向けた取り組みを進めます。				

7 市民への積極的な情報発信（経営企画課）		3 すべての人に 健康と福祉を 			
現状・課題	広報活動については、出前行政講座や健康セミナー、ホームページ等により、健康啓発・予防等に関する情報の発信に努めてきました。今後も、市民が必要とする情報を、正確にわかりやすく提供していくことが求められています。		達成目標	市民の健康啓発に向け、動画サイトを3つ以上作成し、ホームページで配信します。 （令和2年度実績：リハビリ関連情報配信4）	
取組内容	新たな情報発信ツールを利活用し、市民が必要とする情報を正確に分かりやすく提供できる環境を構築します。				